

ヒラタクワガタ号

第32回よこはまの水辺と緑を考える子ども会議

【活動報告1】

3月25日(日) 9:00～ あーすぷらざ大会議室

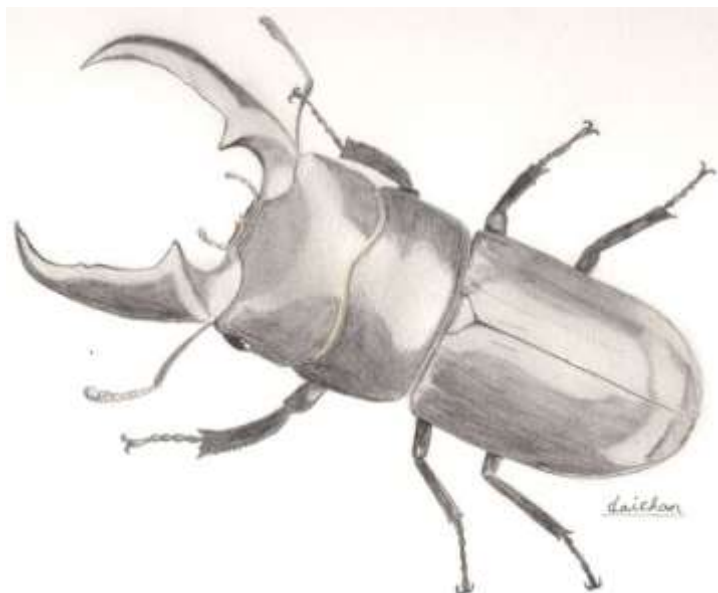
貞廣宇保(小6)

3月25日、第32回子ども会議があーすぷらざで行われました。

今回の子ども会議では、午前がクイズ大会、午後はクイズラリーをしました。午前のクイズ大会では、今年はおレーレット形式でやり、侍従会はおレーレットがあまりあたらず、クイズをあまり出題することができませんでした。

午後のクイズラリーでは、ワークショップも同時に行い、クイズラリーでは、それぞれの活動にあったクイズを出題し、クイズに答えた人には、スタンプまたはサインをし、すべてクリアした人には写真がもらえるということで、参加したお客さんや、各グループは、はりきってやっていました。

午後の活動を通して、他のグループの活動や、そのみりよくななどが伝わり、今年の子供も会議でも、たくさん学ぶことができました。



ヒラタクワガタ (平鋏形)

学名 : *Dorcus titanus pilifer*
(Vollenhoven, 1861)

本州・四国・九州・南西諸島に分布する。だれもが知る大型種でその見た目や希少性から虫好きなら一度は憧れるクワガタだろう。意外と知られていないが野外採集された日本最大のクワガタは本種(対馬亜種)である。木の洞やめくれに入り込みやすいよう平たい形をしている事からこの名前が付いた。成虫は夜行性で広葉樹の樹液を主な餌としている。ヒラタクワガタは現在25亜種に分けられていて、日本にはその内12亜種が生息している。

深沢大地

3月定例クリーンアップ

【活動報告2】

3月25日(日) 9:00~11:00 晴れ 18℃

細川一雄

実施内容：六浦二号橋～大道東橋～大道橋～朝比奈橋 (土嚢袋9袋分とガードレールの端の丸ゴム、ジャンパー、傘、鉄パイプ等回収)

参加者：長野政治、西澤博厚、村田章夫、石渡博、小坂信房、石塚正夫、中村健二、角田繁、関場俊子、八木場紀元、大石剛司、宇多芳美、前河詩水佳、外川忠志、金澤由香、金澤喜乃、小川和美、小川翔太(小6)、水野秀昭(小4)、高橋徳美(横浜市議会議員)、土志田建設(株)(佐伯孝幸、中村寛、宮澤圭二)、細川一雄(計24名)



満開に近い桜の下で準備に忙しい。高橋のりみ横浜市議会議員も参加しました。



ちとせ園の階段下の土をどけてすっきり



回収した9袋分の土嚢袋と傘・鉄パイプ等



上流下流に分かれて回収作業に出発

春の草摘み&野草料理

【活動報告3】

4月7日(土) 9:00~

内山美優(中1)

森中を歩いて全7、8種類の野草を摘んで天ぷら、お団子、餃子、タレなどの料理し、試食しました！ 天ぷらはサクツとする感触がし、お団子はあるこを中に入れ甘い感じに、餃子は水餃子でいつもと違う楽しみ方で、タレはのびるを甘い感じに…

毒がある野草なども教えてもらいました！ いつもと違った食べ物をいつも食べているような食べ方で食べてとても美味しかったです！



学生部新入生歓迎遠足

【活動報告5】

4月8日(日) 9:30~17:30

小川翔太(中1)

ぼくは、新中学一年生として、4月8日(日) 学生部新入生歓迎遠足に参加しました。森戸川中流域から上流まで、川の中を歩きました。

胴長を着て川に入ったときから、魚に囲まれて驚きました。5匹ほど鯉がいて、今井翔太さんと鯉を捕まえ、その重さに驚きました。少し登ると、ウナギが2匹見え、みんなで協力してそのうち1匹を捕まえることができました。残念ながらもう1匹には足の間をすり抜けて逃げられてしまいました。アユは群れになって足の置き場が無いほどでした。他の人の捕まえ方を見てまねて、網を振ってとれるようになりました。普段、侍従川しか見ていないから、たくさんの魚が見られて、とても感動しました。

他の人より先に進み過ぎてしまったので、大ちゃんと今井翔太さんと三色団子を食べながら待ちました。空が明るく、いろいろな地味な野草の花が見られる中、のんびりと待ちました。

川が思った以上に深くて、胸まで沈み胴長に水が入りました。ズボンがべちょべちょになりました。気持ちが悪く感じて、ずっとみんなについていただけでした。

服が乾いてきてやっと元気が出ました。アブラハヤやアユをたくさん捕まえたり、堰堤に飛びついて登ったりするのが楽しかったです。ボウズハゼも見せてもらいました。

その夜は、30cmのウナギを持って帰って食べました。母が料理して弁当に入れてくれました。泥臭くて固いこの味は、一生忘れません。



(編集部注：朝夷奈の森通信はお休みします。)



4月定例クリーンアップ

【活動報告5】

4月22日(日) 9:00~11:00 晴れ 28℃

細川一雄

実施内容：大道東橋～大道橋～朝比奈橋～耕地橋上流（土嚢袋12袋分回収、金網フェンス3枚、車のホイールキャップ、50cm位の掲示板、発泡スチロールのボックス、ダンボールの切れ端・ビニール類多数他）

参加者：長野政治、八木場紀元、小坂信房、西澤博厚、村田章夫、角田 繁、中村健二、関場俊子、関場さら(小1)、関場らい(年少)、外川忠志、山田陽治、平川未央、柏倉正和、柏倉智春、柏倉陽向(小6)、柏倉陽斗(小3)、水野公秀、水野秀昭(小5)、小川和美、小川翔太、山中裕美、山中琉輝(小1)、山中璃音(年長)、柴田繭子、柴田真菜(中1)、柴田幸成(小2)、深沢大地、五月女陽斗(小4)、内山貴子、野沢敦也、貞廣宇保、荒川俊輔、大野颯太、小出晃永、細川一雄(計36名)



地蔵前橋上流の作業



大道橋下に廃棄されていた金網フェンス1枚



車のホイールキャップ(朝比奈橋下流)



青木橋下に廃棄されていた金網フェンス2枚



断熱用シートとポリ袋(里野橋下流)



ダンボール
川のアチコチにあった



岩に引っかかったビニール袋と草の中に埋もれていた発泡スチロールの箱



今月は風の強い日何日もあり、その風によってビニール袋やダンボール、発泡スチロールなどが飛ばされて川に落ちたようです。



12袋分、金網フェンス3枚、ホイールキャップ、掲示板

ピカピカタンポポだより⑧ 横浜市立大道小学校 鷺谷康子

今年も、大道小学校の侍従川・トンボ池の清掃ができました。

今年も、前日の夜中に雨が降ったので、少し心配したのですが、快晴の5月14日(月)の2・3校時に侍従川・トンボ池の清掃を全校で行いました。侍従川に親しむ会からは代表の山田さんと細川さんに来ていただき、出発式では山田さんからお話をいただきました。また、PTA委員のお母さん方に助けていただきました。



山王橋のあたりのところを、4年生67人が順番に入り、ごみを拾いました。前日の雨のせい、いつもより流れは速い気がしましたが、水かさは大潮で、ベストコンディションでした。

壁の足場を使って安全に川に入るのに、慣れていないので、全員が入るまで、見守ってもらいながら20分くらいかかり、入った子たちから順に活動を始めました。

ごみは、学校全体で1輪車1台分、土嚢袋5~6袋集まりました。しかし、「ごみは、あんまりなかったね。」「草の中にやっと見つけた。」と、日ごろの清掃活動の成果でしょうか、子どもたちの感想でした。

子どもたちの関心は、やはり川の生き物たちで、「魚に逃げられた! いたー!」「カニがこの崖に隠れてるよ」「ちょうちょ!」「カワニナみつけた!」「アオダイショウを見つけた」「ヤゴ!」「小さい魚だ!」と大騒ぎでした。ミニミニ水族館でしたが、山田さんから、「鮎」「チチブ」を見せえていただき、お話を伺えたのは子どもたちの印象に残ったようです。ありがとうございました。



<<トンボ池エコアップのお知らせ>>

6月23日(土)10時から、大道小学校のトンボ池のエコアップをします。少雨決行です。

「自然を守る、親しむ活動」を通して、地元の自然、侍従川や生き物を大切にする心が、子どもたちに育ってほしいと思います。



琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～
～ アカスジベッコウトンボ ～



撮影地：沖縄県竹富町西表島 2015年5月

学名：*Neurothemis ramburii ramburii*. 体長：38mm～45mm

分布：石垣島・西表島・与那国島

全身が茶褐色の美しいトンボ。主にフィリピン、東南アジア、インド、ロシア、中国などに分布するトンボで国内では2006年5月に与那国島で記録されて以来、石垣島、西表島などで徐々に見つかるようになり、現在はすっかり定着していて、八重山諸島の島へ撮影に訪れる際は必ずと言っていいほど出会うトンボでした。生息環境は川がせき止められたような場所で、オスが水辺の植物の先端に静止して縄張りを張っている姿をよく見かけます。見かけに寄らず、動きが俊敏なので撮影には一苦労しました。

監修：熊井健（沖縄在住）

侍従川フォトギャラリー



侍従川の桜 2018年3月24日
撮影 山田陽治

北の国から ～オオジシギ～ 瀧本宏昭

北海道苫小牧市周辺はゴールデンウィークに桜が咲き、5月中旬の現在は新緑の季節。森林では、木の種類ごとに新芽の色が違ふこともあり、春ならではの色彩豊かな風景を楽しむことができます。

一方、草地に目を移すとヨシ原は葉が伸びていないため、去年の枯れた葉が覆っており、まだ少しさみしい風景です。そんな見た目の草地ですが、音で感じる草地は野鳥たちの声でとても活気に満ちた雰囲気になっています。

草地にくらす野鳥たちの中でも特に目立つ存在が「オオジシギ」です。彼らは草地の上で飛びながら鳴き、急降下しながら羽をこすり合わせ「ゴゴゴゴ」と音を出し、メスに対してアピールをします。北海道ではそんな姿から別名「カミナリシギ」とも呼ばれる身近な存在です。大きさはハトぐらい。北海道で見られる時期は4月末から9月頃まで。北海道とオーストラリアの約9000kmを行き来する渡り鳥です。

渡りのコースは北海道から小笠原諸島付近、グアム付近の太平洋上を通っていきます。このコースは2016年に日本野鳥の会が勇払原野でGPS使った調査で分かりました。この調査では北海道からニューギニア島まで約1週間で飛んでいきました。

スピードと距離から考えて、途中休んでいない可能性が高く、人間では考えられない体力です。はるばる子育てのために北海道へやって来るオオジシギですが、子育てをするための草地が少なくなり、個体数も少なく準絶滅危惧種（じゅんぜつめつきぐしゅ）に指定されています。

日本野鳥の会でもオオジシギプロジェクトと題して保護活動を進めており、ウトナイ湖がある勇払原野で2016年から調査を実施しています。



杭の上が好きなオオジシギ



こんな道端でも見られる

トピックス

4/15 (日) なりきり！むーにゃん生きもの学園 (NHKE テレ) のロケが、チチブをテーマに侍従川中流域で行われる。

5/14 (月) 大道小学校 侍従川清掃 (2～6年生※1年生はトンボ池清掃) が侍従川中下流域で行われる。(細川、山田が参加)

侍従川定例調査報告 学生部

<<水鳥調査2017-2018>>

【調査範囲】 野島前浜、野島水路、侍従川本流(平潟橋～山王橋)※各欄の数字は総個体数

【参加者】 深沢大地、金子英司、平川美央、高橋一太、貞廣宇保、柏倉陽向、柴田真菜、柴田繭子、柴田幸成、吉村みち子、藤間康司、山田陽治 (計12名)

	種名	2017/11/11	2017/12/2	2017/12/23	2018/1/13	2018/2/3	2018/3/17
1	スズガモ	60	724	1016	889	633	598
2	オナガガモ	0	2	4	7	4	35
3	キンクロハジロ	0	0	0	3	2	0
4	ホシハジロ	1	20	0	1	0	0
5	ヒドリガモ	0	12	46	29	20	29
6	カルガモ	12	10	6	2	4	8
7	カンムリカイツブリ	3	2	1	2	1	2
8	オオバン	102	301	115	82	42	25
9	ハジロカイツブリ	0	2	2	2	2	0
10	カワウ	4	1	3	3	2	1
11	ウミウ	1	0	0	0	0	0
12	ユリカモメ	15	4	6	9	16	3
13	ウミネコ	0	0	1	0	2	0
14	セグロカモメ	0	0	0	1	2	1
15	コサギ	1	5	1	0	1	1
16	アオサギ	3	6	2	2	1	1
17	ゴイサギ	0	1	0	0	0	0
18	カワセミ	0	2	0	3	0	0
19	イソシギ	0	1	3	2	1	0
20	ハクセキレイ	4	10	0	0	4	4
21	イソヒヨドリ	1	1	2	0	0	0
22	ウミアイサ	0	0	0	0	1	0
23	ミサゴ	0	0	0	1	0	0

- ・その他の見られた鳥：スズメ、メジロ、ヒヨドリ、コゲラ、エナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、オナガ、トビ、チョウゲンボウ、ドバト
- ・今回の調査では、今までも継続的に見られていたスズガモの過去最多の飛来数を記録することが出来た。
- ・侍従会では鳥類の調査を今まであまり行っていなかった事もあり、しっかり記録されたのは初めての種類も見られた。来シーズンは今回の調査で分かった事や気になった事を振り返り、より良い調査方法を見つけていきたい。

2018年3月24日(土) 6:30~7:45

【調査範囲】①汐見橋付近 ②雪見橋~平潟橋

【参加者】深沢、金子

【確認した生物】範囲①:スジエビモドキ10

範囲②:スジエビモドキ72、アラムシロガイ8(内死殻4)、ワレカラ下目の一種2、コツブムシ科の一種、タウエガジ科の一種

【備考】・範囲②で確認されたスジエビモドキの内1匹が卵をもっていた。

・ワレカラ類、コツブムシ類、ギンポ類については資料不足のため、種の同定までは出来なかった。

2018年4月22日(日) 13:00~16:00

【調査範囲】加倉橋~ホタル谷戸・本流の源流

【参加者】金子、深沢、平川、高橋、山田、貞廣、柏倉、柴田、水野

【確認した生物】コシボソヤンマ(幼虫)2、ヒルの仲間1、ミミズの仲間1、ウズムシの仲間多数、モンキマメゲンゴロウ1(BOOK・OFF上流側)、サワガニ1(ホタル谷戸)、アサヒナカワトンボ10、ジャコウアゲハ2、ナガサキアゲハ1、モンシロチョウ多数、ハンミョウ多数、イソヒヨドリ1
ハゼ類の卵塊:シマヨシノボリ1、スミウキゴリ1、ウキゴリ1、不明6

【備考】・種類不明の卵塊は、親を確認出来ず特定出来なかったもの。

・カワトンボのメスの異常に小さい個体が採集された。侍従川で前例があるようだが、詳しい原因等は分かっていない。



源流調査の様子



カワトンボのメス

生き物発見記録

3/24(土) 大道橋上流でシマヘビの成体を捕獲。侍従川では目撃例は毎年いくつかあるが、捕獲されたのは何年ぶりだろう。(深沢)

4/7(土) 第二山王橋付近でアカハライモリのロードキルを発見。(深沢)

4/16(月) 長島橋付近でミシシippアカミミガメの幼体(孵化数週間以内)が泳いでいるのを捕獲。他の場所での孵化のタイミングと重なっている事や、この時期に幼体が逃がされる可能性が低い事から、侍従川で繁殖している可能性が高い。(深沢)



事務局だより

◆6月～9月の活動予定◆

☆定例クリーンアップ6/24(日)、7/22(日)、8/26(日)、9/23(日)

9時～12時ちとせ園集合 ※雨天延期…翌週日曜

持ち物：川に入れる格好、タオル、軍手(必要な人)、網(使いたい人…貸出あり)、
着替え(心配な人) ※川の上からの参加でも構いません

☆7/14(土)～15(日)いかだ川下り大会

☆9/1(土)～2(日)ジュニアキャンプ in 野島

☆9月30日(日)ハゼ釣り大会

■学生部の活動

☆7月上旬 クサフグ産卵地調査(侍従側河口域～野島周辺)

☆8月 合宿

☆8月25日(土)ヤンマとり大会 in 瀬上(瀬上さとやまもりの会との共催)

※詳細はメールリストでお知らせします。

●学生部では、ホタル調査を実施中です。学生部以外の方でも参加は可能です。ただし、小学生以下は保護者同伴で参加してください。皆様の参加をお待ちしています。

実施期間：7月上旬まで(予定)の毎週水曜日と土曜日※雨天中止

実施時間：19:00～20:45 集合場所：大道中学校

<<平成30年度会費納入のお願い>>

4月から新年度になりました。新年度分の会費の納入を**6月中**にお願いいたします。
現金での支払いは間違いのもとになりますので、必ず郵便局払込票で支払ってください。
なお、払込料金は、**払込人負担**(青色の払込取扱票)とさせていただきます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

また、振込用紙の通信欄に、会員種別(家族、大人、学生部、ジュニア)、お名前(全員分)、会報の郵送希望の有無の記入をお願いいたします。

口座記号番号：00230-5-68634 加入者名：ふるさと侍従川に親しむ会

年会費：家族会員4,000円 大人3,000円 大学生以下1,500円

ふるさと侍従川に親しむ会事務局 金澤

TEL：090-4072-8485 e-mail：jijyukai@gmail.com

《編集後記》 だぼはげ通信の創刊以来、念願だったカラー化がついに実現しました。しかもコストは抑えたままです。技術の進歩には驚かされるばかりです。(MK)